

平成27年11月25日

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設
第34回 季例会・公開講演会
—幕長戦争と厳島—

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設では、第34回「季例会・公開講演会」を下記のとおり開催します。NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」の頃の厳島がどうだったのか、興味深いお話になると思いますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご来聴ください。

記

【日 時】 平成27年11月30日（月）13：30～15：30

【場 所】 文学研究科 大会議室（東広島キャンパス 文学研究科講義棟 1 階）

【講 師】 三宅 紹宣 氏（広島大学名誉教授）

【演 題】 幕長戦争と厳島

【概 要】

幕長戦争は、長州藩の四つの境で激戦が展開されたが、芸州口は大手と位置づけられ、最も大規模な戦闘が繰りかえされた。厳島は征長軍の基地となり、あるいは対岸の住民の避難地となり、戦争に大きくかかわった。さらに戦後は、大願寺において講和会談が行われ、幕府側代表の勝海舟と長州側代表の広沢真臣・井上馨との間で交渉が行われた。これらの出来事を中心に、広島藩全体の動きも含めて紹介したい。

【参加費】 無 料 ※予約の必要はありません。

【後 援】 岩国市教育委員会 岩国徴古館

【お問い合わせ先】

広島大学大学院文学研究科 中山研究室
TEL: 082-424-6641
E-mail: tomihiro@hiroshima-u.ac.jp

第34回 季例会・公開講演会

幕長戦争と厳島

“花燃ゆ”の頃の厳島



日時： 平成27年 11月30日 月 13:30～15:30

無料

場所： 文学研究科（文学部） 講師：広島大学名誉教授

1階 大会議室

三宅 紹宣 氏

【メッセージ】幕長戦争は、長州藩の四つの境で激戦が展開されたが、芸州口は大手と位置づけられ、最も大規模な戦闘が繰り返された。厳島は征長軍の基地となり、あるいは対岸の住民の避難地となり、戦争に大きくかかわった。さらに戦後は、大願寺において講和会談が行われ、幕府側代表の勝海舟と長州側代表の広沢真臣・井上馨との間で交渉が行われた。これらの出来事を中心に、広島藩全体の動きも含めて紹介したい。

後援：岩国市教育委員会 岩国徴古館

関連行事：

岩国徴古館展示『岩国幕末ものがたり2. 四境戦争編』開催中
(11月14日〈土〉～1月17日〈日〉)

山口県岩国市横山2丁目7-19 TEL0827-41-0452

(休館日：月曜日〈祝日の場合は翌日〉、12月29日～1月3日)